

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方
【天神山校区】(R3 4/19更新分)

Q1 天神山小学校は、幹線道路を通らず、安全に学校まで通うことができる環境である。今回の案では通学距離がかなり遠くなり、危険な道も多い。具体的な対策はあるのか。

A 児童生徒の安心・安全な通学環境を整えることは、教育委員会の責務であり、適切な対応をしっかりと行います。

安全な通学路の整備にあたっては、地域・保護者の皆様とともに、天神山地区から現葛城中学校までの道路状況や周辺環境などの安全上の検証を十分に行います。

その上で、必要に応じ、歩道の整備やスクールゾーンの設置等、具体的な対策を道路担当部局等と連携しながら具体的な対策を実施していきます。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方
【天神山校区】(R3 4/19更新分)

Q2 天神山小学校区もスクールバスの対象範囲となるのか。

A 児童・生徒の安心・安全を確保することは教育委員会の責務であり、小学生で4km以内、中学生で6km以内としている国の、徒歩や自転車による通学距離の基準に機械的に当てはめるのではなく、地域の交通事情や通学環境などを見極め、保護者や地域の皆様のご意見もお聞きしながら、必要不可欠な場合には、スクールバス等を導入してまいります。天神山校区から現葛城中学校までの通学距離は上記の国の基準に当てはまりませんが、保護者や地域の皆様との協議の中で、スクールバスを必要とする特段の事情があれば、他地区との均衡も鑑みつつ、その導入について検討してまいります。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方

【天神山校区】(R3 4/19更新分)

Q3 天神山小学校では、地域の行事も多く開催され、地域のコミュニティ活動の拠点となっている。代替地は確保されるのか。

A 天神山小学校区では、小学校を拠点として、花火大会や体育大会など、地域の皆様による活発なコミュニティ活動が展開されてきたところであり、今回の計画によって小学校が統合・閉校となれば、地域のコミュニティ活動に影響が及ぶと心配されることは十分に理解できることです。

しかしながら、学校は、何よりもまず、子どもたちの教育の場としての機能が最優先されるべきものであると考えます。今回の適正規模・適正配置は、学校の小規模化が進む中、子どもたちが将来にわたってより良い教育環境の下で、充実した学校教育を受けることができるようにするために不可欠な取組です。

その上で、小学校が統合・閉校となることによる地域のコミュニティ活動への影響については、それが可能な限り回避できるよう、地域の皆様のご意見も踏まえ、これまでの交流場所や活動場所の確保など、残された学校施設の有効な利活用策も含め、市長部局と連携して幅広く検討し、引き続き、地域のコミュニティ活動を支援していきます。